

# ノートルダム清心女子大学 実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		ノートルダム清心女子大学		設置者名	学校法人 ノートルダム清心学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成22年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
文学部	英語英文学科	80人	中一種免(英語)	昭和29年度	99人	27人	27人	14人
			高一種免(英語)	昭和29年度			27人	
	日本語日本文学科	60人	中一種免(国語)	昭和29年度	78人	25人	25人	11人
			高一種免(国語)	昭和29年度			25人	
			高一種免(書道)	昭和31年度			8人	
	現代社会学科	60人	中一種免(社会)	平成15年度	84人	12人	12人	2人
			高一種免(地理歴史)	平成15年度			12人	
			高一種免(公民)	平成15年度			12人	
	人間生活学部	人間生活学科	70人	中一種免(家庭)	昭和29年度	77人	7人	7人
高一種免(家庭)				昭和29年度	7人			
高一種免(福祉)				平成13年度	3人			
児童学科		120人	幼一種免	昭和39年度	167人	151人	104人	92人
			小一種免	昭和42年度			63人	
			特支一種免 (知・肢・病)	昭和46年度			55人	
食品栄養学科		80人	栄教一種免	平成17年度	76人	4人	4人	0人
入学定員合計		470人	合計		581人	226人	391人	124人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成23年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							



# 実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成23年6月27日（月）

実地視察大学：ノートルダム清心女子大学

実地視察委員：山極隆委員、天笠茂委員、狩野浩二委員

## ■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

<状況>

- ・ 2学部6学科で教員養成を行っている。

<講評>

- ・ 教員養成に関する教育課程、教員組織等については、全般的に基準を満たしている。
- ・ 地域における教員養成大学としての役割も大きく、今後も教員養成の水準の維持向上が図られることを期待する。

## ■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

<状況>

- ・ キリスト教精神に基づいて真なるもの、善なるもの、美なるものを追求すること、リベラル・アーツ・カレッジとして教育・研究を通して真の自由人を育成すること、社会生活を遂行する手段の提供にとどまらず、生きることの意義を追求することを教員養成に対する理念としている。

<講評>

- ・ 教員養成に対する理念・構想が示されているが、それを明確化・具体化するために、教職課程に関する全学的な組織を構築するとともに、教育課程や教員組織がより一層充実したものとなるように努めること。

## ■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

<講評>

- ・ 同一名称の科目について、教員によって大幅に内容が異なることがないよう、教員間で調整して同じ内容に近づけること。
- ・ 教職に関する科目について、教育職員免許法施行規則上含むことが必要とされる事項を確認できるよう、授業計画を再考の上、当該事項を含んでいることを確認出来るようシラバスに明記すること。

## ■ 教育実習の取組状況

### <状況>

- ・ 中学校、高等学校の教職課程においては、学生の出身校等において実習を行っている。実習校の確保については、学生自らが希望校と交渉を行っている。その他の免許種に関する教職課程では、大学、地教委が調整を行っている。
- ・ 大学担当者による実習校の訪問を行い、実習生の指導にあたっている。

### <講評>

- ・ 教育実習の実施にあたっては、課程認定大学は、教育実習の全般にわたり、学校や教育委員会と連携しながら、責任を持って指導に当たることが求められる。
- ・ 大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、可能な限り大学が所在する近隣において実習先を確保することが望ましいが、学生が出身地の学校への就職を希望する等により、遠隔地における教育実習を行う場合においても、大学が、実習先の学校と連携し教育実習に関わる体制を構築するとともに、公正な評価となるように努めること。

## ■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

### <状況>

- ・ 支援ボランティアやインターンシップ等、地域と学校との連携を図り学校現場へ学生を積極的に派遣している。
- ・ 「保育・教育基礎実習」、「保育・教育インターンシップ」といった学校現場体験、学校ボランティアに関する授業科目を開設している。

## ■ 教職指導及びその指導体制の状況

### <状況>

- ・ 年度当初のオリエンテーション期間中に各年次生を対象とした教職課程説明会を実施している。
- ・ 教職課程担当教員が希望学生への面接指導、日常的なコミュニケーションを密にするといったサポートを実施している。
- ・ 平成22年度に教職相談室を新たに設置し、教職指導力のある非常勤担当者による相談、ガイダンスを実施している。
- ・ 平成23年度に教職支援センターを設置し、教職関係図書閲覧室の利用等が実施されている。

### <講評>

- ・ 教職関連施設としての環境はよく整備されている。
- ・ 履修指導体制も、丁寧である。
- ・ 学生が更に主体的に利用できるような指導を引き続きお願いしたい。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

- ・学内では教職課程連絡協議会、学外では岡山市教育実習連絡協議会において学科及び学外の関係機関と連絡調整を実施。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<講評>

- ・教職関係の図書、学術雑誌等の資料、各種の教育機器等の施設・設備が十分に備えられていて、評価できる。

